

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：2017年度（2016年3月1日～2017年2月28日）

環境方針

1. 組織の概要
2. 環境負荷と環境目標
3. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
5. 代表者による全体評価・見直しの結果

作成日：2017年4月27日

オカノ電機株式会社



環境方針

オカノ電機株式会社は、

オカノ電機の基本理念

弊社は、常に未来を見つめ、従業員の個性を尊重し、想像力を生かし、新しい可能性に挑戦する心をもって、優れた自主技術を育み、企業としての社会的責任を果たしながら、顧客の満足度を第一に、安全性、品質、環境に配慮し卓越した製品を提供することで、社会に貢献することを基本理念とする。

に基づき、環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境保全に貢献するという基本理念のもとに、企業活動を通じて健康で豊かな社会の実現を目指すことを目的として下記の基本事項に取り組みます。

1. 事業活動、事務活動、及び当社の製品が環境に与える影響を確実に把握し、環境保全活動を推進するにあたり以下の項目について重点的に取り組みます。
 - a. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び排水量を把握し、**・省エネルギー** **・廃棄物削減** **・リサイクル**及び節水に取り組みます。
 - b. 製品の設計、生産活動の各段階、及び製品・サービスにおいて環境汚染の防止に努めるとともに、常に創意工夫し公害等の環境リスクの低減に取り組みます。
 - c. 特定有害物質の使用禁止指令（ROHS）等、法規制の整備に適応し、地球に優しい、環境負荷の少ない資材の調達を目指し、各社取引先の協力を得ながら、グリーン調達の推進に努めます。
 - d. 効率良く業務を行うこと、及び作業に伴う事故の防止を図るために、整理、整頓、清掃、清潔、躰の5S活動の徹底を図ります。
2. 環境に関する法令・規則・協定及びその他の合意事項を遵守致します。
3. 環境活動・社内広報活動を推進し、全従業員の環境方針の理解と環境に関する意識向上を図ります。
4. 社内の緑を守り、緑化を進め、健康で快適な環境の確保に寄与致します。

2013年11月1日
オカノ電機株式会社
代表取締役社長 岡野広明

1. 組織の概要

① 事業所名及び代表者氏名

オカノ電機株式会社
代表取締役 岡野広明

② 所在地

認証・登録範囲；

本社工場（本館、別館） 〒203-0003 東京都東久留米市金山町 2-8-18

北日本営業所 〒021-0901 岩手県一関市真柴原下 32-58

名古屋営業所 〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷 3-5 グロウバルビル 4-A

大阪営業所 〒571-0039 大阪府門真市速見町 9-27 第2ハイツタカヒロ 101

全事業所が対象

③ 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者 立沢 章浩（管理統括部長）
環境事務局 内野 直子
連絡先 電話 042-471-3316 FAX 042-474-1675
e-mail akihiro.tachizawa@okano-denki.co.jp

④ 事業活動の概要

1. 精密部品の画像処理による自動検査装置、高速搬送整列装置等の設計・製作・販売
2. 基板検査装置（インサーキットテスター、ユニットチェッカー）等の設計・製作・販売
3. 屋外看板用照明器具製造・販売 LED レンズモジュール ONESTAR

⑤ 事業の規模

製品出荷額； 3079 百万円（2017 年度）

	本社工場
従業員数(人)	132 (10 月末)
延床面積(m ²)	2050m ²



4面外観検査装置



インサーキットテスター



LED レンズモジュール
ONESTAR

2. 環境負荷と環境目標

環境 目標	基準(実績)	短期目標	中長期目標	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1 CO2削減				
① 電力消費量削減	476095 kWh	2%削減 466573 kWh	4%削減 457051 kWh	6%削減 447529 kWh
② ガソリン消費量削減	54138L	2%削減 53055 L	4%削減 51972L	6%削減 50890L
2 廃棄物排出量削減	35.965 ton	2%削減 35.246ton	4%削減 34.526ton	6%削減 33.807 ton
3 水道使用量削減	1080m ³	2%削減 1058m ³	4%削減 1037m ³	6%削減 1015m ³
4 環境に配慮した物品等の使用、調達(グリーン購入)		* グリーン調達の拡大(社内意識の改善)	* グリーン調達の実績拡大	* グリーン調達の質と量の分析と実行
5 環境に配慮した製品の設計、販売(部品点数の削減)		* 製品の設計段階で部品点数を削減する。製品の標準化を進め無駄をなくす。 * LEDの販売拡大	* 製品の設計段階で部品点数を削減する。製品の小型化や標準化等に挑戦する。 * LEDの新製品導入、販売拡大	* 製品の小型化や標準化等に挑戦する。 * LEDの販売拡大

* CO2の排出量実績(電力、ガソリン、都市ガスにて算出)

2017年度(2016年3月-2017年2月) 365,322Kg-CO2

2016年度(2015年3月-2016年2月) 364,031Kg-CO2

2015年度（2014年11月－2015年10月） 330,998Kg-CO2

弊社は電気の排出係数を2015年度東京電力の実排出係数の0.500 kg-CO2/kWhを使用しています。

3. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

主要な環境活動計画の内容	取組み結果の評価 2017年度（2016年3月～2017年2月）			
	目標	実績	達成区分	問題・今後の方向等
<p>今後の方向性については、下記欄外の基準を基に目標値の再設定を行う。</p>				
1. CO2削減				
①電力消費量削減 ・ 不要照明の消灯 ・ エアコンの温度管理	2%削減 466573 kWh	8%増加 502,525 kWh	×	・ 社内の大幅なレイアウト変更にと もない、執務スペースの増加によ り電力消費量が増加した。業務の 分担をして残業時間を削減し、電 力使用量の削減をする。
②ガソリン消費量削減 ・ 車両の点検整備の徹底 ・ エコドライブの徹底	2%削減 53055 L	8%削減 49012L	○	・ エコカー（低燃費車）の導入及び エコドライブの徹底で削減効果が出 た。
2. 廃棄物排出量削減 ・ 廃棄物分別の徹底 ・ 廃棄物量の削減 ・ 不要な資料の未取り 寄せ	2%削減 35.246ton	55%増加 54.540 ton	×	・ 社内の大幅なレイアウト変更にと もない、部材などを大量に廃棄し た為、廃棄物排出量が増加した。 今後は減少する見通し。
3. 水道使用量削減 ・ 散水時の節水 ・ 手洗い時の節水	2%削減 1058m ³	5%増加 1107m ³	×	・ 節水を全社で進めたが、目標通り の削減には至らなかった。引き続 き節水を推進していく。
4. 環境に配慮した物品等 の使用、調達 ・ グリーン購入	名刺の再 生紙使用	全量再生 紙使用	○	・ グリーン購入の拡大を進める。 社内の意識改革も必要。
5. 環境に配慮した製品の 設計、販売 ・ 製品の設計段階で部品 点数を削減	画像検査 機の部品 削減	パソコン 台数の削 減	○	・ 削減分の記録と改善検討 ・ LED事業を拡大し、LEDの 部品を購入し、レンズモジュー ルなどの商品の販売を拡大す る。

○ ; 目標達成、 × ; 目標未達成

今後の方向性：2017年度の各項目の実績を基準年に変更し、2018年以降の目標をそれぞれ基準年の実績比-2%で再設定します。

4. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況の確認をした結果違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去7年間ありません。

5. 代表者による全体評価・見直しの結果

当社はエコアクション21に登録開始から7年が経過し、
全社レベルで環境対応の意識が確立してきたといえる。エコアクション21の取り組み方について、2013年1月より体制や運営方法を変更し、本年もさらに工夫を加えたためより効率的になった。

今後はPDCAをしっかりと回す仕組みを進めていながら3ヶ月おきのレビューで対策を検討し実行して欲しい。

以上